



山口県内の経済情勢

令和 6 年 4 月 22 日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 石田
TEL：(083) 922-2190(代)

HP 掲載先：
[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↘
雇用情勢	持ち直している	緩やかに改善しつつある	↗

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じる	「下降」超に転じる	↘
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが県内経済の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ドラッグストア販売は医薬品など、百貨店・スーパー販売は飲食料品などが堅調であることから、前年を上回っている。

家電大型専門店販売はパソコンなど、ホームセンター販売は暖房器具など、コンビニエンスストア販売は麺類などが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は、小型乗用車などが低調であることから、前年を下回っている。

(主なヒアリング結果)

- ウイルス感染症などの流行により、咳止めや解熱剤などの市販薬がよく売れているほか、栄養ドリンクや冷却シートなどの売上も伸びている。(ドラッグストア)
- 料理の手間を省き、調理に時間をかけなくなってきたことから、惣菜や冷凍食品などの売上が伸びている。(スーパー)
- パソコンの需要が低調な状況が続いているほか、例年と比べて暖かい日が多かったことから、エアコンの需要も低調であった。(家電大型専門店)
- 例年と比べて暖かい日が多かったことから、ファンヒーターなどの暖房器具の需要が低調であった。(ホームセンター)
- 例年と比べて暖かい日が多かったことから、温かい麺類のほか、中華まんなどのホットスナックの需要が低調であった。(コンビニエンスストア)
- 一部の自動車メーカーが認証不正問題により生産及び出荷を停止した影響を受け、小型乗用車などの販売台数が減少している。(自動車販売店)
- 海外メディアに取り上げられたことで山口市への注目度が高まっており、県外からの旅行予約が増加している。外国人観光客についても、従業員の英語教育を行うなど受け入れ環境の整備を進めており、今後増加することを期待している。(宿泊)

■ 生産活動 「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

汎用・生産用・業務用機械は、自動車向けで需要が堅調なほか、化学は、医薬品の増加に加え化粧品向けで需要が堅調なことから、増加している。

輸送機械は、新型車効果が一巡したほか、鉄鋼は、建材向けなどで需要が低調なことから、減少している。

- 半導体不足の緩和などによる自動車生産台数回復への期待から自動車向け産業機械の需要が堅調となっており、生産量が増加している。(生産用機械)
- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して以降、外出頻度の高い状態が続いていることから、化粧品向けの需要が堅調に推移しており、生産量が増加している。(化学)
- SUV(スポーツ用多目的車)の新型車効果が一巡した影響などから、生産量が減少している。(輸送機械)
- 人手不足や資材価格の高騰による建設需要の低迷に伴い、建材向けなどの需要が低調なことから、生産量が減少している。(鉄鋼)

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、引き続き高めに推移している。

新規求人数は、製造業などで減少しており、前年を下回っている。

- 雇用環境が改善している中で人材獲得競争が激しくなっており、人材確保のために賃上げを実施したものの、採用予定者数を確保することができなかった。(鉄鋼)
- 最近では民間求人サイトを活用するなど幅広い手段を用いて求人活動を行っているものの、他社との人材の取り合いが激しくなっており、必要な人数を確保することができていない。(小売)
- 前年と比較すると求人数が減少しているものの、これは前年に新型コロナウイルス感染症の影響が薄らぎ、求人が増加していたことの反動によるもので、人手不足の状況は依然として続いている。(公的機関)

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業は、その他の輸送用機械などで減少するものの、電気機械、鉄鋼などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業は、小売などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 電気自動車向けの需要増加を見込み、工場の新設や新規生産設備の導入などの生産能力増強投資を進めている。(電気機械)
- 老朽化した船舶の代替建造や、新事業への進出に伴う設備投資を進めている。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 製造業は、情報通信機械などで減益となるものの、石油・石炭、パルプ・紙などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業は、運輸・郵便などで減益となるものの、小売、鉱業・採石などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数は、分譲住宅、持家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、一般機械、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、北米などで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、大洋州、アジアなどで減少している。

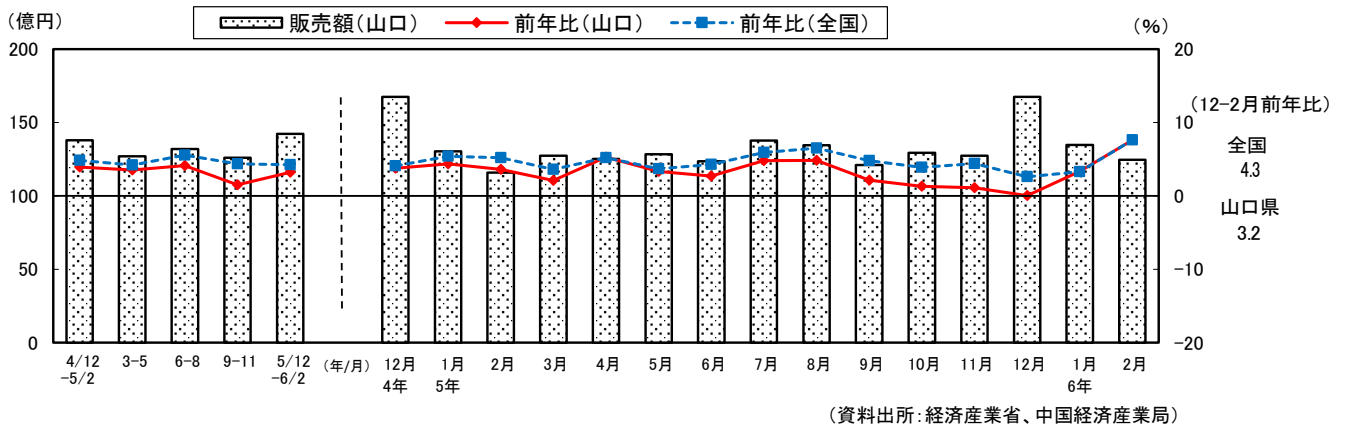
資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

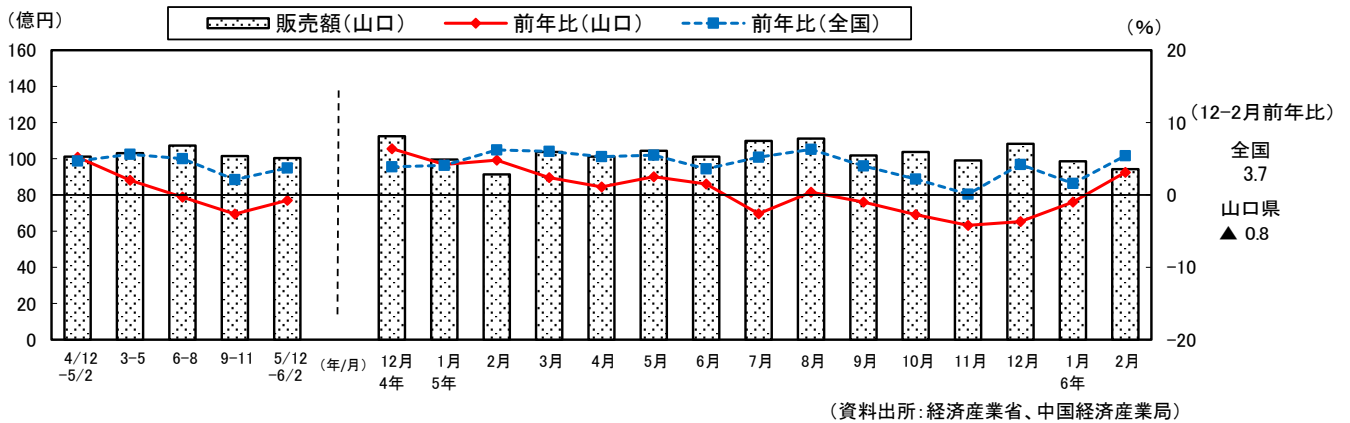
1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)

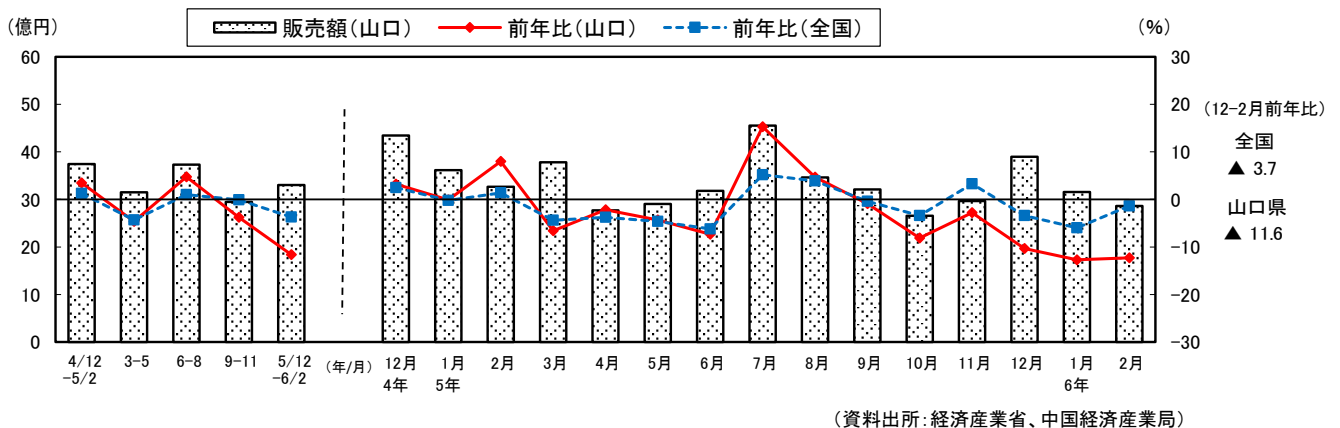
(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。



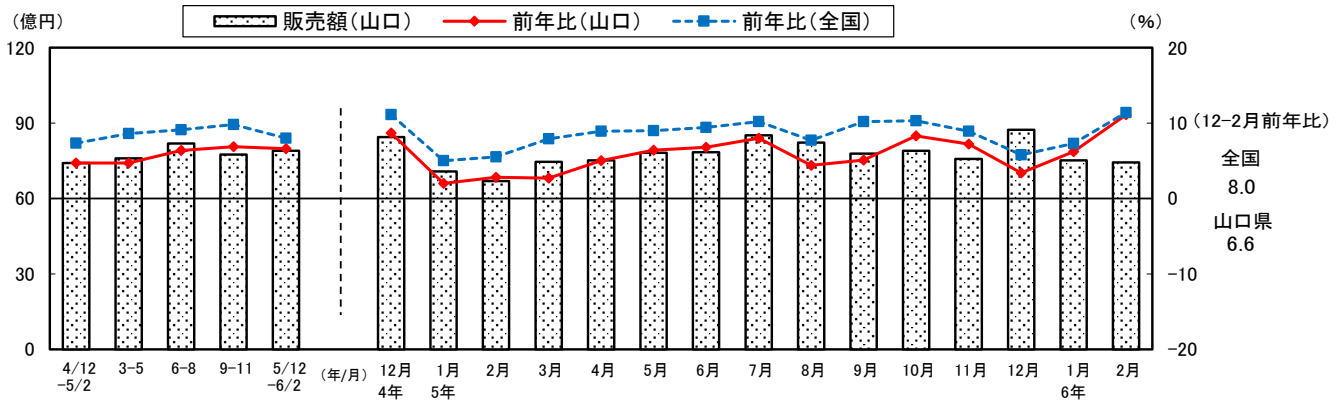
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

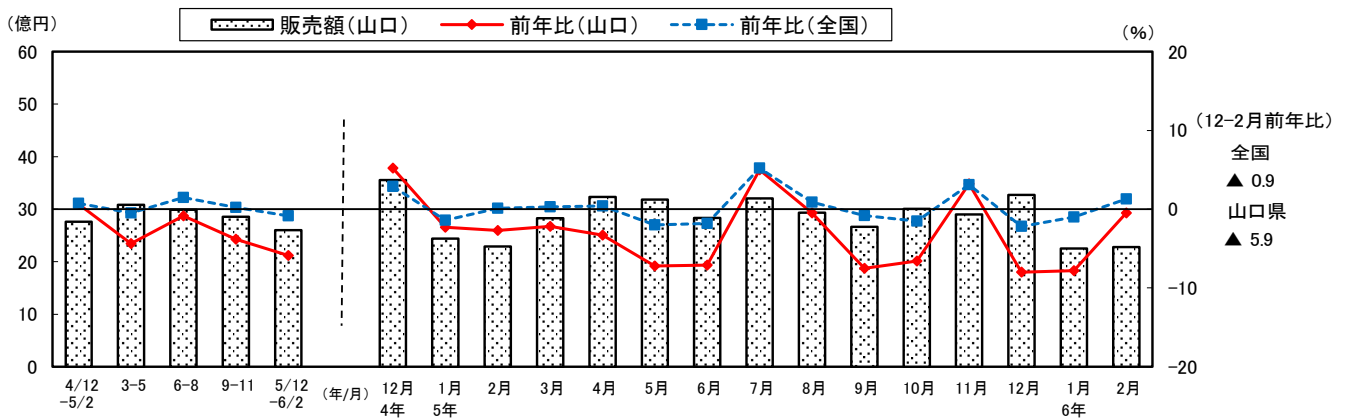


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



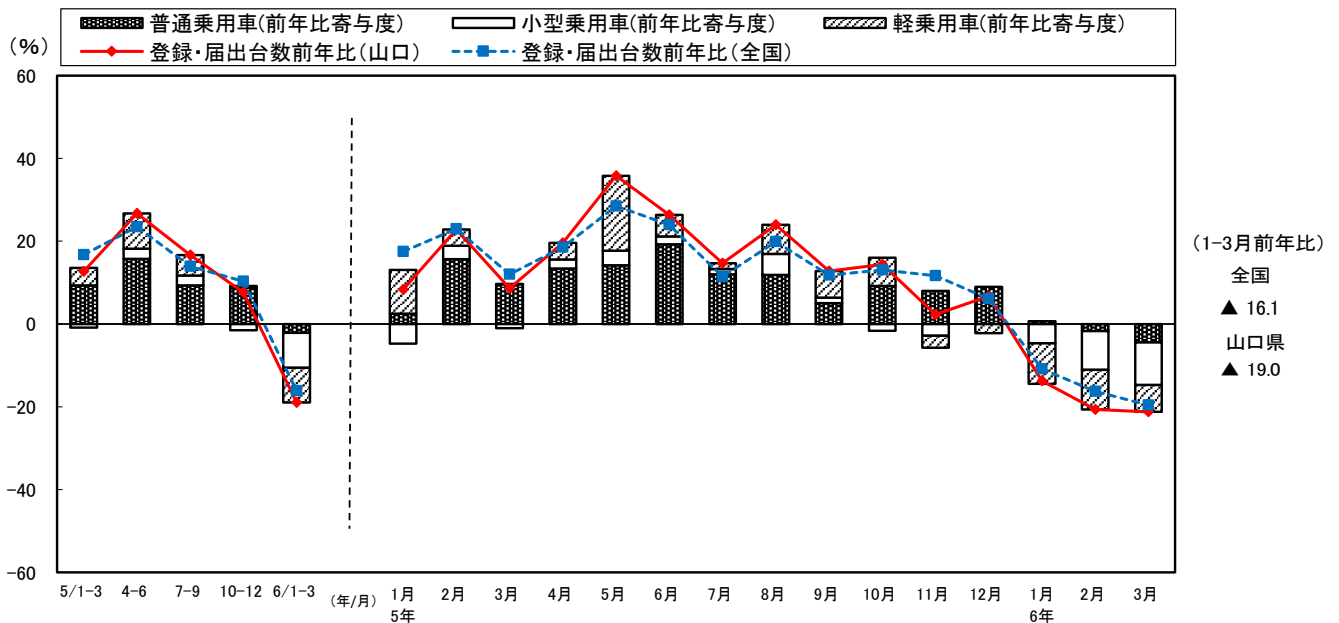
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

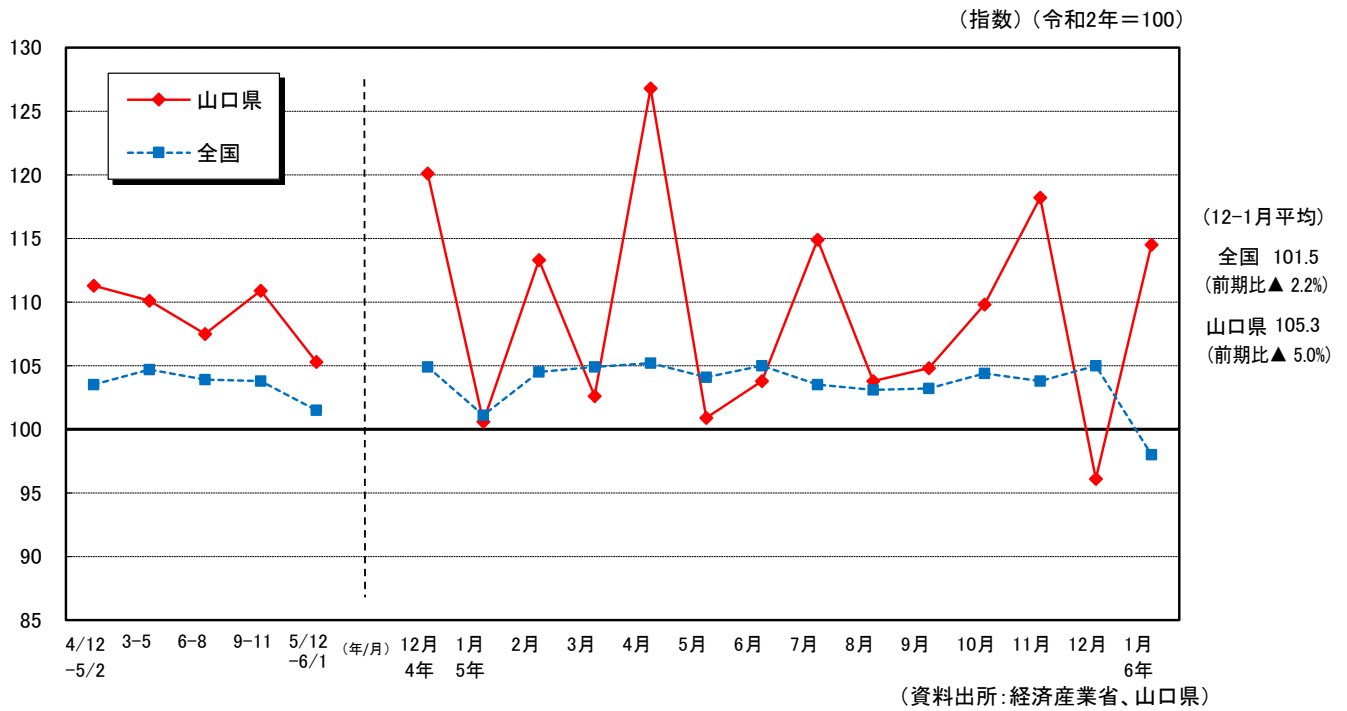
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



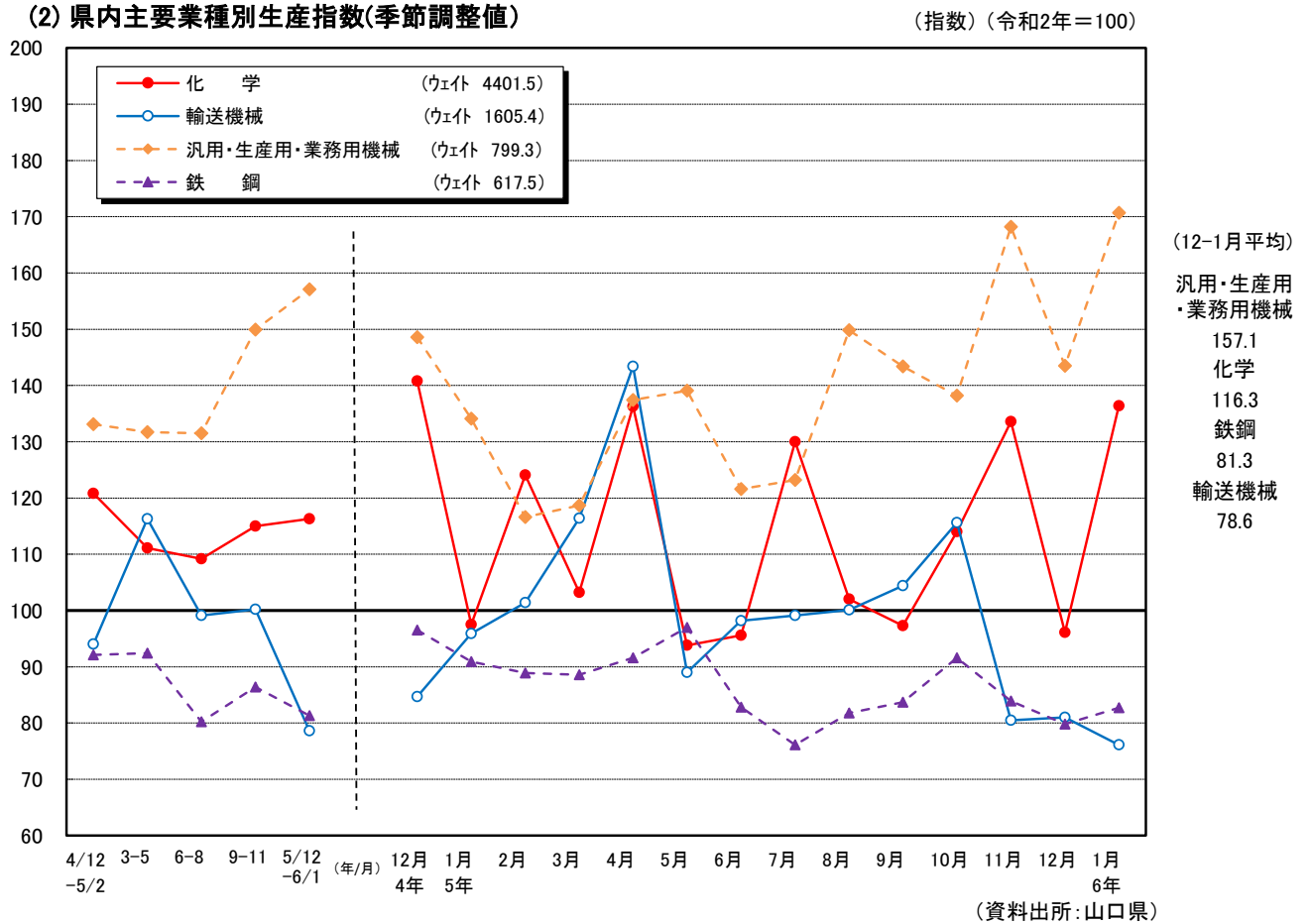
(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



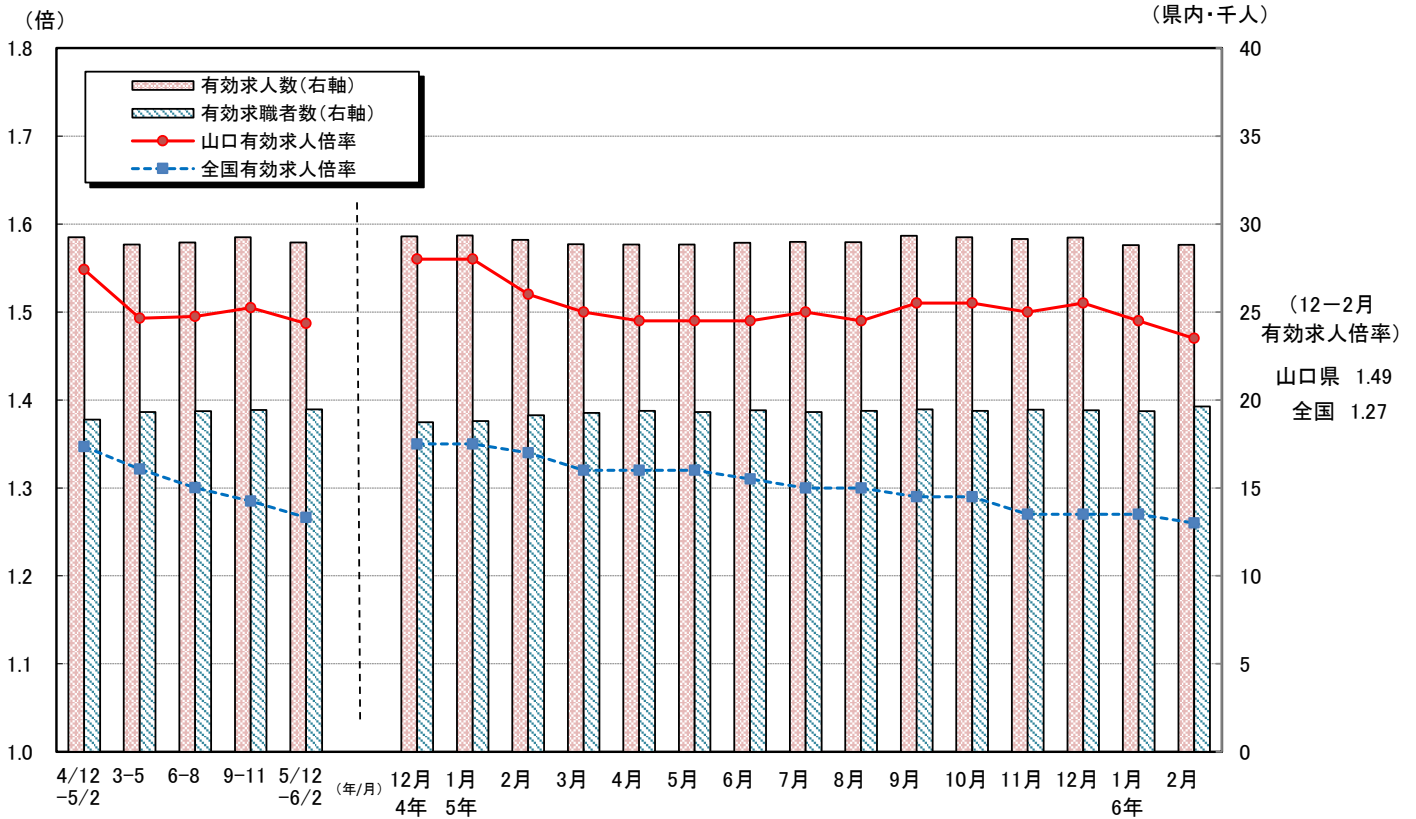
(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

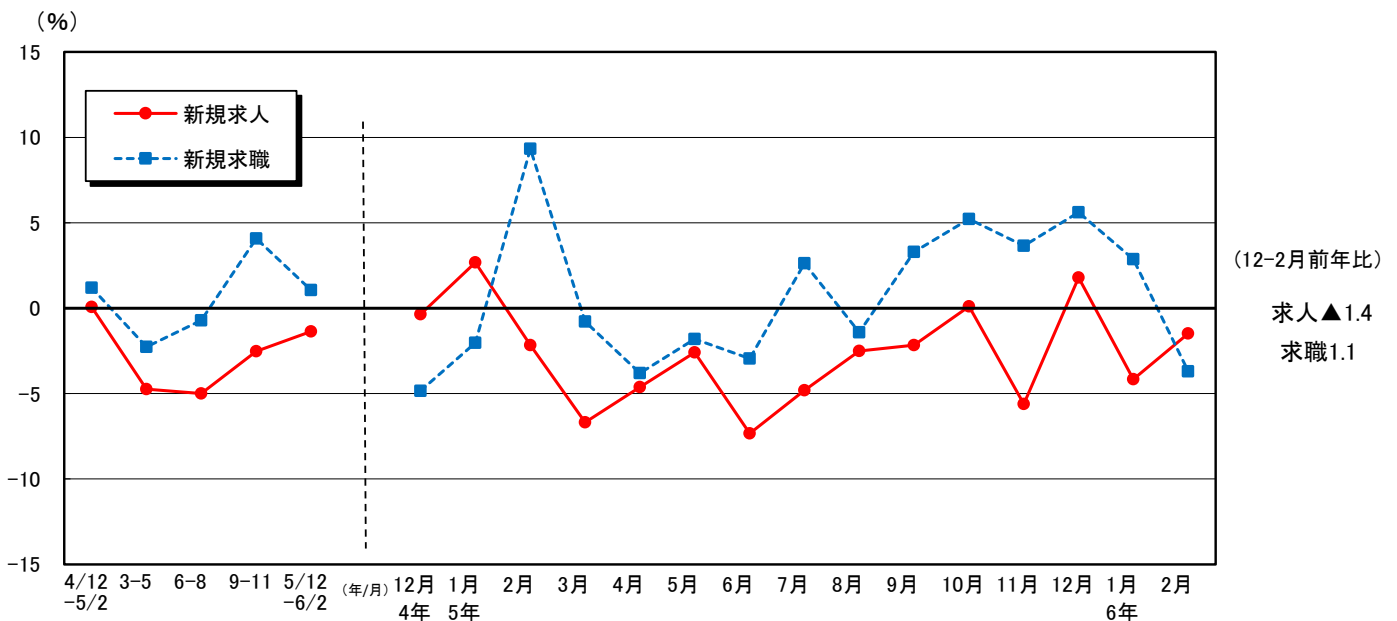
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

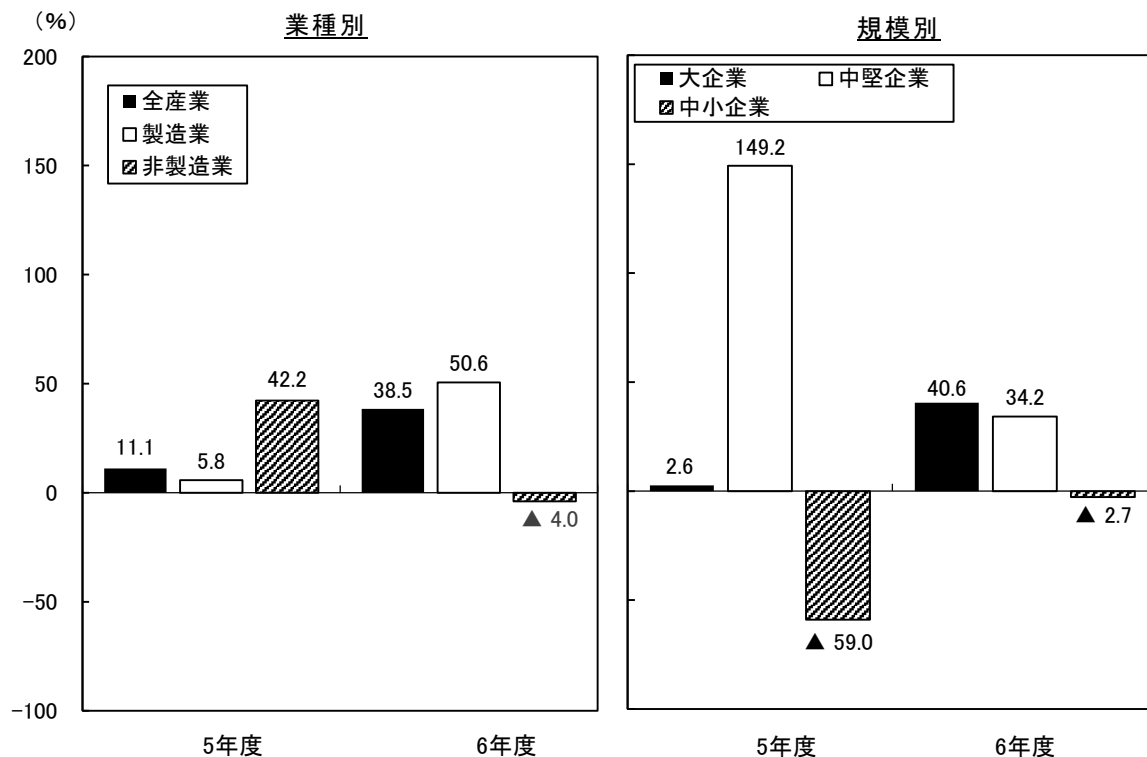
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



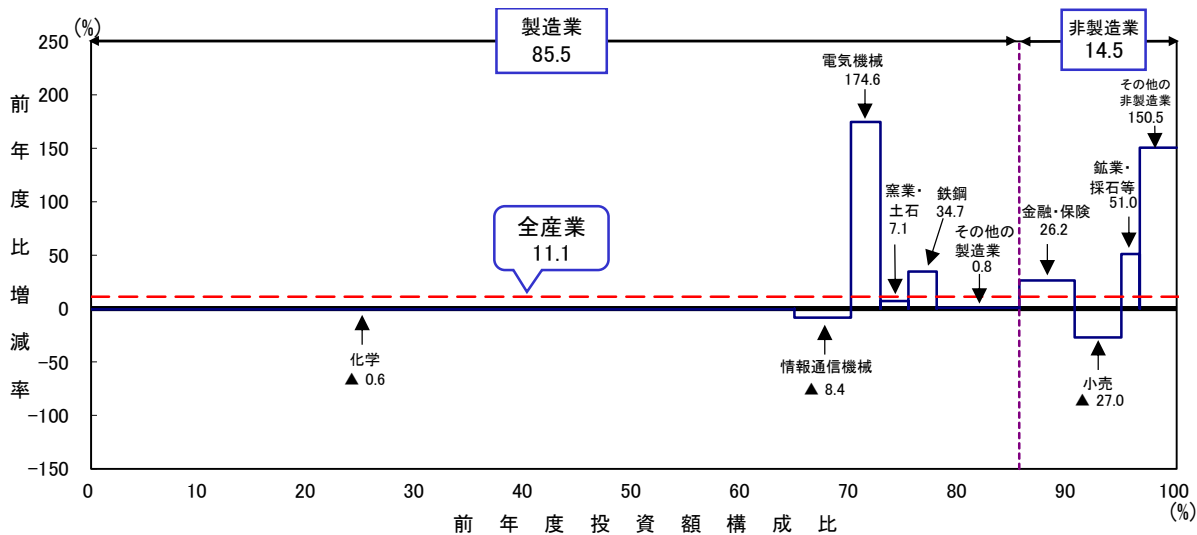
(資料出所:山口労働局)

4.設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



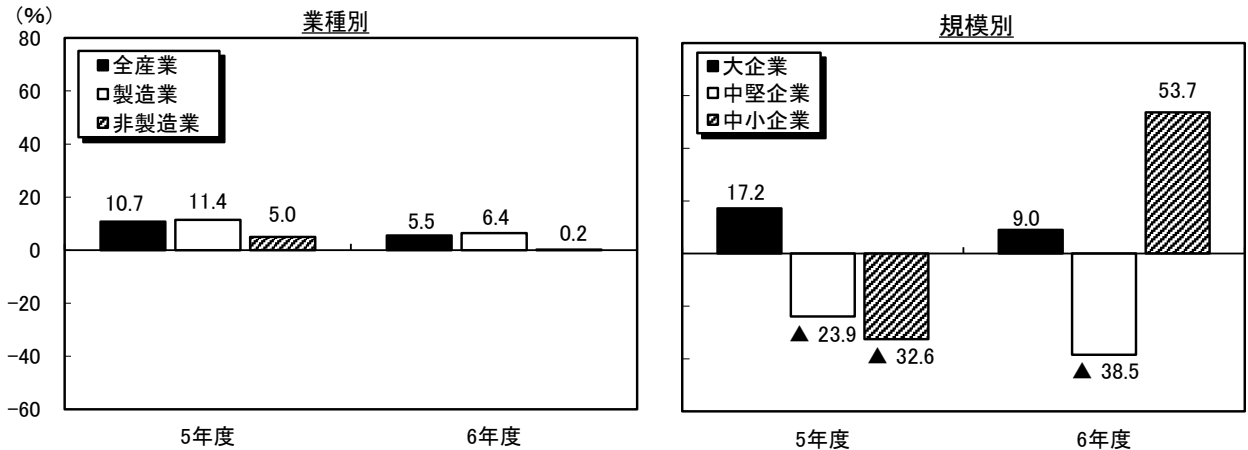
(2) 主要業種別(5年度)



(資料出所:山口財務事務所)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

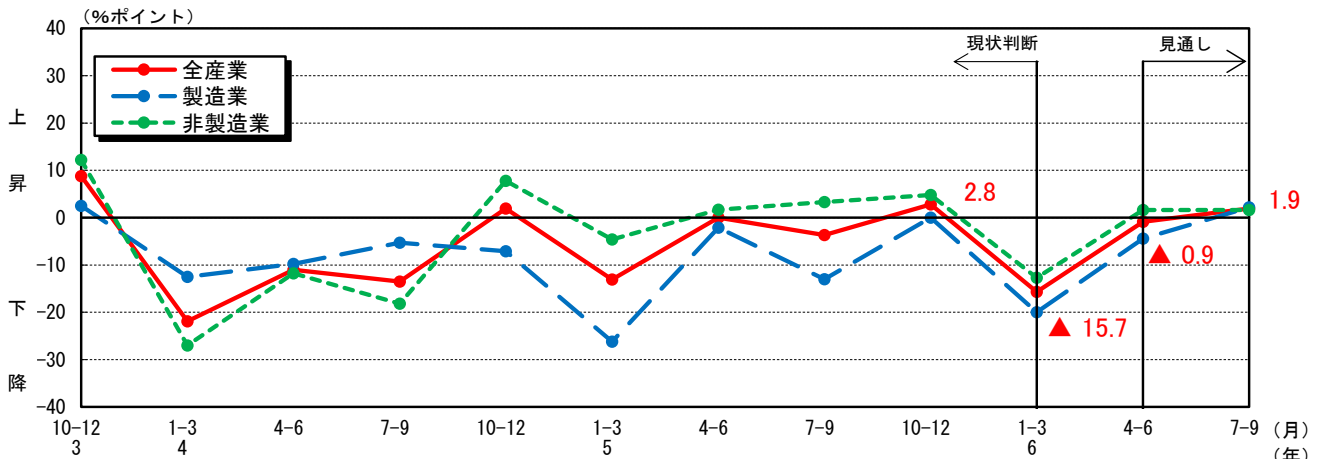
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 山口財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じる

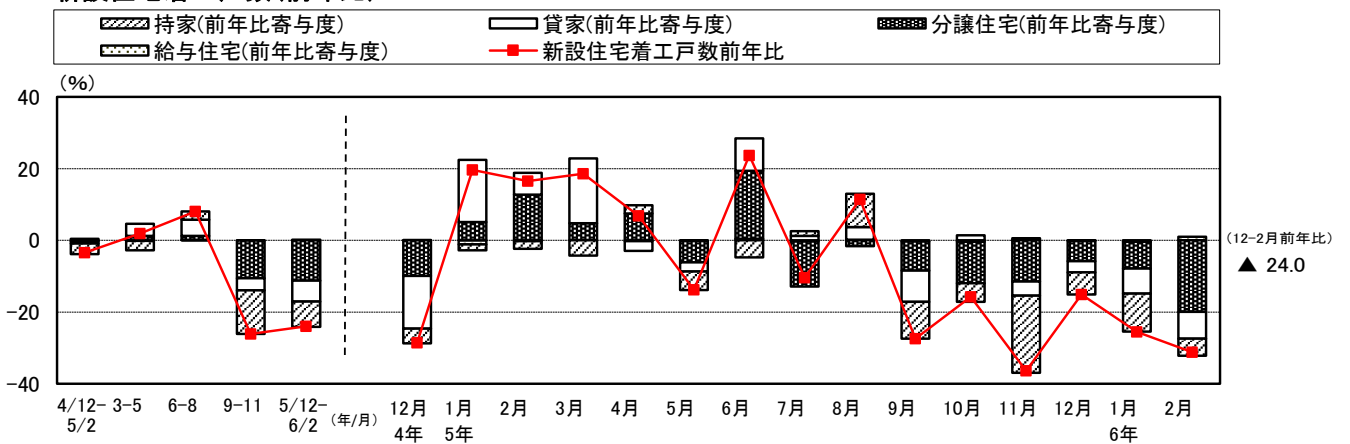
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」「下降」社数構成比)



(資料出所: 山口財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

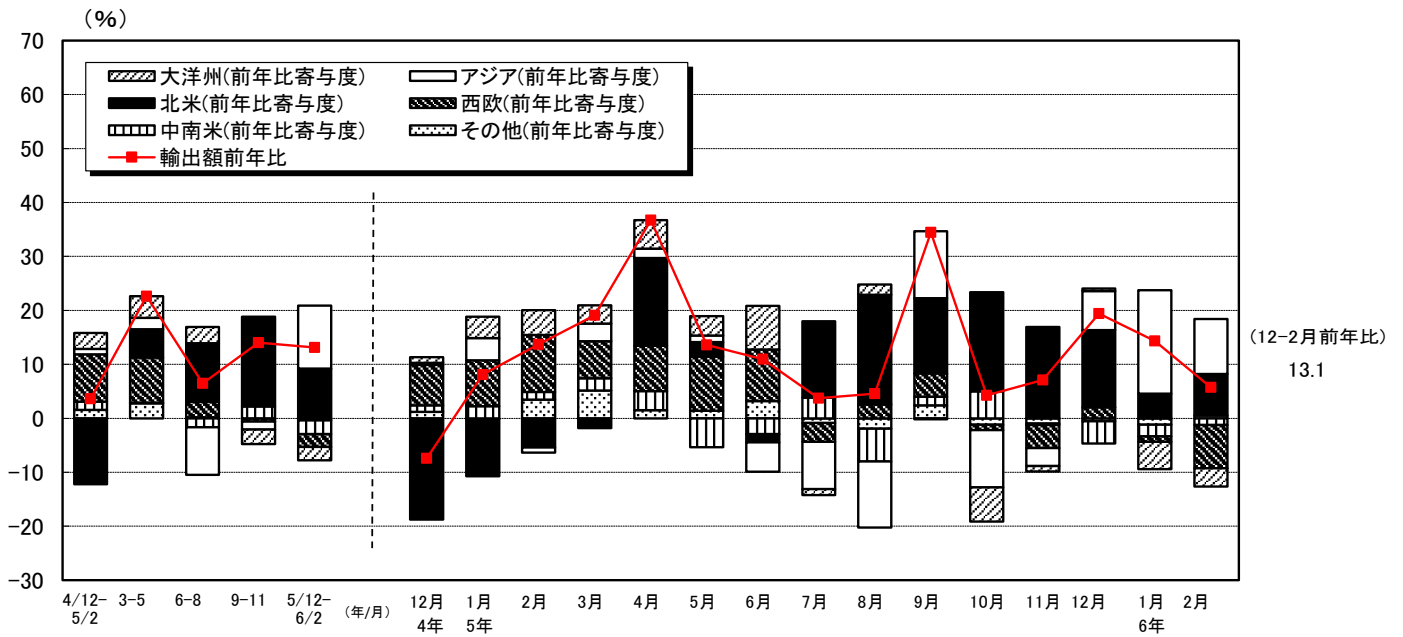
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

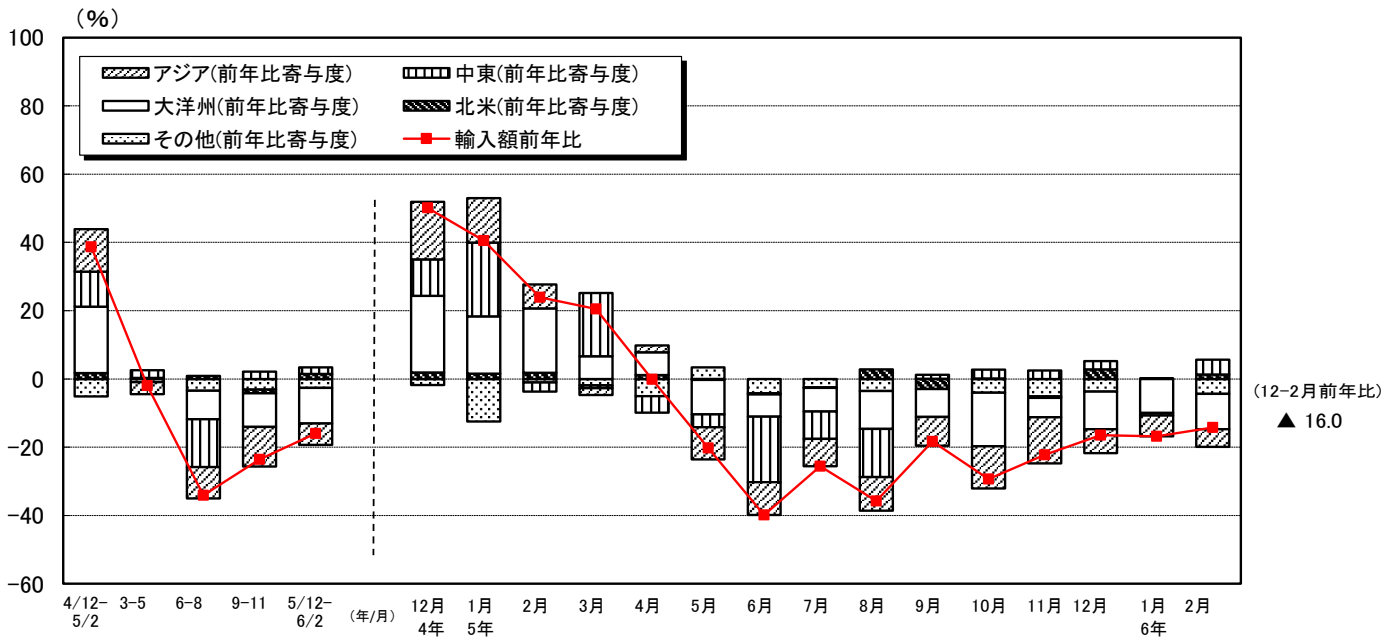
輸出(円ベース)



(資料出所:神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所:神戸税関、門司税関)